



(串八二度ツケ厳禁!)

2020-2021 年度よりそい専門研修会(実践編) 受講ご案内(オンライン研修)

司法と福祉の架け橋をめざして!

「よりそい専門研修会」は、“司法と福祉の架け橋を目指して!”のスローガンを掲げ、矯正施設退所者等の支援に係る方々のご参加を得て、2016 年度から毎年開催してきました。しかし、2020 年度はコロナ感染症流行の 2 回目の緊急事態宣言発出の中、オンライン研修で開催致しました。

今回の「2020-2021 年度よりそい専門研修会(実践編)」は、コロナ禍の制約の下、従来の研修会内容を再構成し、先に開催した「2020 年度よりそい専門研修会」を「刑事司法の基本」に係る研修会(講義)と位置づけ開催し(前半)、いわばその続編(後半)として、「対人援助の技法(理論)」に係る研修会(講義)を“実践編”としてオンラインで開催致します。

今回の研修会は、先のオンライン研修会を受講された方、あるいは、“支援対象者が犯罪に関わってしまったら!”、“出所した人が再び罪を犯さないためには!…”司法と福祉、それぞれ専門性が高く、“よくわからない!”…と自らの日頃の業務等の中で感じておられる方など、司法や福祉、医療、教育、行政関係者など、罪を犯してしまった人の支援に関わる(可能性のある)みなさまに、実践的な「学び」の機会、相互の連携・協力づくりの機会を提供するものです。コロナ感染症流行の第4波で、大阪府はじめ 1 都 3 府県で 3 回目の緊急事態宣言が発出されたところですが、オンライン研修のメリット生かし、多くの方々の受講をお願い申し上げます。

なお、今回の研修内容は、専門研修会(前半)における中村正先生の講義は、専門研修会全体の「総論」の位置づけにあたることから、受講ガイダンスと共に再度配信致します。そして、“実践編”の講義としては、3 つの講義を用意し、配信予定ですので、次の「研修日程・内容」をご確認ください。

*****【研修日程・内容(予定)】*****

配信期間:2021 年 6 月 1 日(火) 9:00~7 月 11 日(日) 21:00

<再配信(無料…但し、講義 1~3 のうち 1 つ以上の受講が必要)>

配信期間チャート

	6/1~	6/7~	6/14~	6/21~	6/28~	7/5~7/11
①受講ガイダンス	→					
②講義(中村先生)	→					
③講義-1(大岡先生)		→				
④講義-2(丹羽先生)			→			
⑤講義-3(水藤先生)				→		

①今回の配信期間は、前半専門研修会の配信で、“短い”との声もあり、余裕のある配信期間にしました。

②各講義配信開始のタイムラグは、其々の講義内容から考え、①→⑤の順に視聴いただく企図があります。

③ご自身が視聴いただき、友人・知人に申込視聴をお勧めいただければ幸いです(視聴 URL の貸与等厳禁)。

申込締切:2021 年 6 月 28 日(月)まで

 <https://yorisoi-osaka2021-01.peatix.com/>

※受講手続きについては裏面をご覧ください。

●講義「犯罪と社会」(再配信)



中村 正 先生(立命館大学大学院人間科学研究科教授)

ねらい)罪を犯した人々のこれからの人生に寄り添うことの意義について掘り下げていきます。司法に関わる支援の「奥行きと広がり」を社会病理学・臨床社会学から理解します。

講師プロフィール)立命館大学大学院人間科学研究科教授。立命館大学法学部卒業後、大学院で社会学(社会病理学)を専攻し、現在は、臨床心理や対人援助に関する専門職を養成する大学院で教える。暴力と虐待、主に加害についての臨床を行いながら研究し、現場は、少年刑務所での性犯罪者処遇、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、男性問題相談にかかわる民間団体でのDV加害男性向けグループワークなどを実践。『家族の病理とドメスティック・バイオレンス』(作品社、2001年)、『治療的司法の実践』(第一法規出版、2018年)、『虐待者パーソナリティの研究』(翻訳、明石書店、2011年)、『対人援助学を拓く』(編著、晃洋書房、2013年)、『犯罪被害者と刑事司法』(岩波書店、2017年)、『マイクロアグレッション』(翻訳、明石書店、2020年)等。

<「対人援助の技法(理論)」(講義-1-3…有料)>

●講義-1 「トラウマインフォームドケア(TIC)の視点から考える支援」

岡田 由佳 先生(武庫川女子大学文学部准教授)



ねらい)対象者の背景には過去のトラウマがあり、今なおその影響を引きずっていることが往々にしてあります。トラウマインフォームドケアの観点から、対象者の理解に努めます。

講師プロフィール)武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授。精神保健福祉士・社会福祉士。(略歴)関西大学社会学部卒業後、久留米大学大学院博士課程修了し、2008年に博士(保健福祉学)取得。帝塚山大学心理福祉学部の助手・講師を務めたのち、2010年より武庫川女子大学に着任。(著書)著書・訳書等に「犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド」(2016年 金剛出版 監訳)、「こころの健康シリーズVI 格差社会とメンタルヘルス…犯罪被害者とメンタルヘルス」(2014年 日本精神衛生会)など多数。各種委員や講演なども行う。

●講義-2 「思春期・青年期の子どもたちと虐待 ～子どもシェルターの取組から～」

丹羽 有紀 先生(弁護士)



ねらい)少年非行の一つの背景となっている虐待の問題について、思春期・青年期の子どもたちに虐待が及ぼす影響と子どもたちへの支援の現状を学びます。

講師プロフィール)弁護士・NPO法人子どもセンターめくく運営委員。1996年司法試験合格。1998年家庭裁判所調査官補採用。家庭裁判所調査官、主任家庭裁判所調査官を経て2017年3月家庭裁判所を退職。2018年3月弁護士登録(大阪弁護士会)。

●講義-3 「犯罪行為者への福祉による支援:役割と課題」

水藤 昌彦 先生(山口県立大学社会福祉学部教授)



ねらい)これまでの講義の内容を踏まえながら、非行や犯罪をした人への福祉による支援の役割や意義、留意点などについて考えます。

講師プロフィール)山口県立大学社会福祉学部教授。専門は司法福祉、フォレンジック・ソーシャルワーク、刑事政策。(略歴)2001年からビクトリア州政府ヒューマン・サービス省にて、障害のある犯罪行為者への対応などに関わる。2008年より社会福祉法人北摂杉の子会勤務を経て、2011年山口県立大学社会福祉学部准教授。2017年より現職。独立行政法人国立のぞみの園参事を兼務。(著書)主な共編著書に『当事者と援助者の「共助する関係」—刑事司法領域における対人援助の基本』(現代人文社、2020年)、『司法と福祉の連携』の展開と課題』(現代人文社、2018年)などがある。

*****【受講申込方法】*****

Peatix(下記 URL もしくは右の QR コード)よりお申し込みいただけます。 →→→

 <https://yoriso-osaka2021-01.peatix.com/>

(申込締切:2021年 6月 28日(月))



- ① お申込み、支払いを完了している方には、配信開始 2 日前をメドに受講(視聴)URL 及び配布資料(PDF) URL をお申込時メールアドレス宛にメールにてご送付します。お申込時のメールアドレスは、お間違いないようにご記入ください。
- ② 講義-1、2、3 は有料(1,000 円/1 講義、但し、3 講義通しチケット 2,800 円)です。また、<再配信(無料)>の受講(視聴)は、講義-1~3 の 1 つ以上の受講(視聴)をお申込の方に限定します。
- ③ 受講(視聴)後に「振返りレポート」(レポート様式 URL は受講(視聴)URL ご送付時にご案内)提出をお願いします。振返りレポート提出の方には、後日、「受講証明書」を発行し、講義-1~3 のすべての振返りレポート提出者には「修了証書」を発行します。
- ④ 受講(視聴)に係る URL 等は、ご本人のみの利用で、他人への提供や貸与等は厳禁とします。
- ⑤ 受講(視聴)申込に係りご提供いただいた個人情報は、本研修会の目的以外で使用することはありません。

【お問い合わせ先】

一般社団法人よりそいネットおおさか(大阪府地域生活定着支援センター受託団体)

〒542-0012 大阪市中央区谷町 7 丁目 4-15 大阪府社会福祉会館2階

(TEL)06-6762-8644 (FAX)06-6762-8645 (HP)<https://yoriso-osaka.jp/>